



(せたがや梅まつり)

平成30年度の雇用保険料率について ～平成29年度から変更ありません～

平成30年度の雇用保険料率

事業の種類	負担者		失業等給付の 保険料率	雇用保険 二事業の保険料率	①+② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付の 保険料率のみ)	② 事業主負担			
一般の事業	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
(29年度)	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
農林水産・※ 清酒製造の事業	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
(29年度)	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
建設の事業	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000
(29年度)	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000

(枠内の下段は平成29年度の雇用保険料率)

※ 園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については一般の事業の率が適用されます。

◆ 平成30年度の雇用保険料率は、平成29年度の料率を据え置き、一般の事業で0.9%、農林水産・清酒製造の事業で1.1%、建設の事業で1.2%とし、平成30年4月1日から適用します。
詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

◆ 労災保険料率等が改定されます(平成30年4月1日施行予定)。
詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

注) 平成29年度確定保険料の算出に当たっては、旧料率等で計算してください。

平成30年工業統計調査にご協力ください

この調査は製造業を営む事業所に調査員が訪問し、聞き取りによる準備調査を行った後、調査票を配布します。調査は5月から6月にかけて行われますので、ご協力をお願いいたします。
(この調査には「統計法」に基づく報告義務があります。)

ご協力をお願いします！！



工業統計キャラクター
コウちゃん

【調査目的】我が国の工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料とするため。

【調査期日】平成30年6月1日 (平成29年実績の回答をお願いします。)

【調査方法】5月中旬から調査員が訪問し、調査の依頼と聞き取りによる準備調査を行います。

従業者が4人以上の事業所に対しては、その後調査票の配布・回収を行います。

※調査員は東京都知事が任命する地方公務員です。顔写真付きの調査員証を携帯しています。

※調査票が配布される事業所には、5月上旬に東京都から調査協力依頼ハガキが送付されます。

【問合せ先】世田谷区政策経営部政策研究・調査課 統計担当 03-3425-6125

【経済産業省HP】<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>

経済産業省・東京都・世田谷区

工団連「専門家派遣事業」のご案内

工団連が、中小企業診断士・技術士・税理士・社会保険労務士などの公的資格保有者ほか、各専門分野について実績のある専門家を派遣し、経営や技術に関する企業の課題解決を支援します。

【メリット1】最大5回まで無料で専門家を派遣。
(派遣先は原則として都内拠点です。)

【メリット2】専門家の指名が可能。
(工団連ホームページで登録専門家のプロフィールが確認できます。)

【メリット3】技術に関する専門的な相談にも対応。
(ご相談は全業種で受付ます。)

【実施期間】各年度4月1日から3月31日の間。

※お申込み状況により、これより早く終了する場合があります。

*詳細は、同封のチラシをご覧ください。

工団連「依頼試験等助成事業」のご案内

製造事業者等が技術開発及び製品開発や技術革新の際に必要な依頼試験、技術支援や開発支援等の経費を助成いたします。

【助成金額】1企業あたり年間最大20万円まで(助成率2/3以内)

【助成対象経費】①依頼試験 ②オーダーメイド試験 ③実地技術支援 ④試験機器の利用 ⑤オーダーメイド開発支援などのサービスを利用した場合の利用料金

※お申込み状況により、年度途中で受付を終了する場合があります。

*詳細は、同封のチラシをご覧ください。

青年部会視察研修 in 山梨

平成 30 年 2 月 13 日 (火) 青年部会は山梨県甲府にあるサドヤワイナリー工場視察研修会を行いました。

サドヤ様は、創業 101 年の老舗で日本ワインの創業者でもあり、工場内には歴史を感じ取れる部分が沢山ありました。

地上のワイン工場では、数千万円もする最新の海外製機械が稼働しておりました。地下の貯蔵庫に移動しますと大正 6 年当時の加工場、貯蔵庫がそのまま保存してあり感銘を受けました。

工業会の目線から質問が飛び交いました。「なぜ加工場は磁器タイルでできているのか? (当時は一番衛生的に管理ができた)」「コルクの作り方 (一つの木からくり抜いて作る)」などなど、本来 40 分の見学コースも 70 分となりました。

ワインづくりにも、ブドウの品種から搾る工程、貯蔵工程など手が加わり何気なく飲んでいるワインも人の手及び技術が加わっている事に気づかされました。やはりどの分野にも、人の技術・発想が必要で継承する事が必要に思いました。

その後、ご当地グルメを堪能し楽しく過ごすことができました。世工振青年部会で出会った皆様に感謝し、更に青年部会を盛り上げて行きたいと思えます。

(青年部会 視察研修担当幹事 富澤謙二)



(ワイナリー工場の前がいい気分)

ソーラー避難誘導塔「AE-TOWER」 区立世田谷公園に設置

2 月 21 日 (水)、「ソーラー避難誘導塔 AE-TOWER (会えたわ〜)」が「区立世田谷公園」(世田谷区池尻 1-5-27)に設置されました。世田谷区内で 7 基目になります。

公園入口の階段を上ると目の前に 9.2 メールの白いタワーがあります。都市空間にもフィットするデザインで、地域防災のシンボルタワーとしてとてもわかりやすい場所に設置されました。



(寒空中で設置完了)

(噴水をバックに)



住工共生まちづくりワーキング実施報告

◆実施内容

1. 準工業地域における住工共生まちづくりワーキングの開催
居住環境と操業環境が調和したまちづくりの実現に向け、桜新町地区をはじめとしたものづくり系事業者の有志、桜新町町会、桜新町商店街振興組合、世田谷区、世工振が継続的に話し合う場として、ワーキングを 5 回開催しました。

2. 桜新町地区における住工共生交流イベントの実施 (平成 29 年 8 月 2 6 日)

小学生の目線からものづくり事業所を見学・取材してもらい、取材内容をグループごとに発表しました。発表 (取材) の内容は「桜新町事業所マップ改訂版」に掲載するとともに、交流イベントを通じて事業所と地域住民をつなぐ場づくりやコミュニケーションの機会を提供しました。

3. 桜新町事業所マップ及びものづくり事業所 PR 動画の作成

①事業所めぐりで取材した内容を掲載した「桜新町事業所マップ改訂版」を作成しました。表紙のデザインは、昭和女子大学の学生が提案した「夜桜四重奏~ヨザクラカルテット~」(桜新町を舞台にした人気マンガ)の作者と出版社のご厚意で、夢のコラボが実現しました。

②事業所見学や取材内容の発表の様子を記録したのものづくり事業所の PR 動画を作成しました。



(事業所マップのイメージ)



(事業所へレッツゴー!)



(第 5 回ワーキングの様子)

編集後記

花見に歓迎会、同窓会、春はオン、オフともに飲酒の機会が増え、肝臓がフル回転します。肝臓をいたわろうとふと頭に浮かぶのが「休肝日」。

しかし「肝臓を休ませることが良いこと」という科学的な根拠は薄いという専門家も多くなります。様々な調査によると、1 週間に日本酒 1 4 合以下が適量と言われています。そして、1 日の飲酒量は日本酒なら 1 合から 2 合です。(ビールなら 500ml の缶ビール 2 本) 1 日の飲酒量が適量 (1 週間 1 4 合程度) を越えていなければ、体に悪影響はほとんどないようです。大事なことは、飲酒量なのです。1 日の飲酒量が適量を越えていると「休肝日」の効用が認められますが、1 日の飲酒量が適量以内のひとは、休肝日を設けなくても問題にならない可能性があります。一方、「休肝日」を設けていても、飲む日に大量飲酒したら意味がないこととなります。“のんびい”には簡単なことではありませんが、「休肝日」の目論見は、アルコールの総摂取量を減らすこと! この秘められた趣旨をご理解下さい。

さて、小職も世工振 3 年目を迎えます。今年度も、編集委員一堂、皆様にご有益な情報を提供できるよう頑張ります。ご愛読のほどよろしく申し上げます。(H.E)